



雨から来た火山の贈りもの 伊豆半島ユネスコ世界ジオパーク

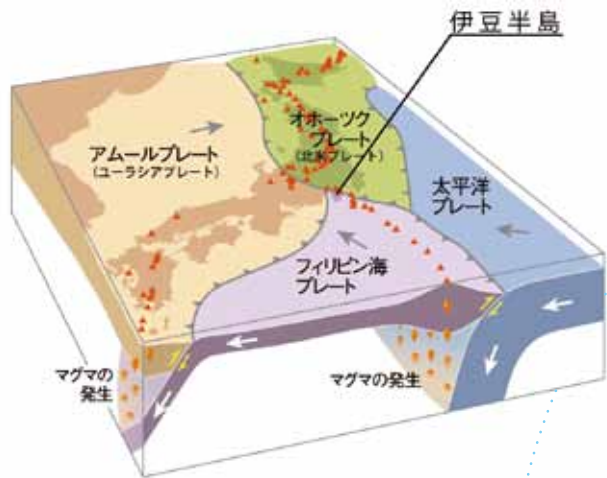
ながいずみのジオ

Nagaizumi Geo Trip



編集・発行／長泉町産業振興課
TEL : 055-989-5516 MAIL : sangyo@town.nagaizumi.lg.jp
〒411-8668 静岡県駿東郡長泉町中土狩 828
ながいずみ観光交流協会
TEL : 055-988-8780 MAIL : koryu@kanko-nagaizumi.com
〒411-0943 静岡県駿東郡長泉町下土狩 1283-11 コミュニティながいずみ 2F





伊豆半島の歴史は、約2,000万年前にさかのぼります。

当時の伊豆は、本州からはるか南の彼方数百km先の太平洋の海底に沈む火山群でした。

その後、フィリピン海プレートの北上の動きに合わせて日本の本州に接近、衝突。

現在の半島の形になりました。約60万年前の出来事です。

衝突後、約20万年前までは半島上のあちこちで噴火が続き、現在の伊豆半島の骨格を形づくりしました。

フィリピン海プレートの動きは、現在も伊豆半島を本州に押し込み続けていて、緩やかな地殻変動が伊豆の大地の多様性を今もなお、育み続けています。

こうした幾つもの地質学的特異性が伊豆半島を形成しており、伊豆半島は世界のどこを探しても例をみない、地球上の特異点ともいえる場所となっています。

長泉町は、伊豆半島ユネスコ世界ジオパークを構成する15市町の最北端。

地球と、そこに住む人々の営みを探しに出かけませんか。



長泉町のジオサイト



1. つるべ落としの滝 Tsurubeotoshi Falls

板状節理の発達した愛鷹山の溶岩にかかる滝で、渇水期は水がなくなり“幻の滝”とも呼ばれる。

周辺の遊歩道では、同様の板状節理や、溶岩の上面を溪流が穿った滑沢（千じょう岩）など、安山岩質の厚い溶岩流がつくる地形や構造を楽しむことができる。

（愛鷹山水神社より徒歩1時間）





2. 愛鷹山水神社 あしたかやま すいじん じゃ Ashitakayama Suijinja Temple

桃沢川の源流にあたる水源地。明治36年に建立。

八大龍王（龍神）を祀り、海洋渡航者や漁師などの信仰を集めている。

川が境内に露出した愛鷹山の溶岩の上を流れ、周辺の林道などでは、溶岩流の中のできた板状節理なども観察できる。

（長泉町元長窪1番地）





3. 駿河平 Surugadaira

愛鷹山麓部にある駿河平は、火山地質を観察できるほか、地形観察にも適している。ゆるやかな火山山麓部からは、さえぎるものなく伊豆半島の山々や、駿河湾の一部を一望することができ、伊豆半島の大地の成り立ちやその地形を概観できる眺望ジオサイト。



4. やと 谷津の湧水 Yato-no-yusui Natural Spring

愛鷹山がもたらしている湧水。

川が運んだ土砂や火山灰の地層には幾筋もの湧水が湧き出し、まわりでは多くの動植物が見られる。

(長泉町下長窪 999 番地の 4 谷津区北側)





5. 牛ヶ淵 Ushigafuchi Falls

長泉町立北中学校北側、溶岩流の流末にかかる落差3～4 m ほどの滝だが、川幅・淵の広さは滝の規模と比較すると大きい。

この淵には戦国時代、武田軍による長久保城落城の際、城の秋姫は逃げる途中、この淵に牛車もろとも転落し、命を落としたという悲しい伝説がある。

(長泉町南一色 6 番地の1 シャンボール東側 〈駐車可〉)





6. 鎧ヶ淵 Yoroigafuchi Falls

黄瀬川の本流にかかる幅 10m、落差 3m の滝。富士山の溶岩の段差により滝が形成された。戦国時代、長久保城をめぐる合戦で、血に染まった鎧や刀を洗い、使用不能になった鎧を沈めた淵、といわれていた伝説がある。

(長泉町下長窪地先 鎧ヶ淵大橋近く)





7. 鮎壺の滝 Ayutsubo Falls

黄瀬川にかかる高さ9mの滝で、三島溶岩流の南西端にでき、滝の裏側には溶岩樹型も見られる。滝と富士山が絶景であることから「富士見の滝」とも呼ばれ、県の天然記念物に指定されている。滝壺が藍色をしていたため「藍壺の滝」とも呼ばれていた。

(長泉町下土狩地先 県道87号沿い駐車場有)





写真提供／伊豆半島ジオパーク推進協議会

8. 割狐塚稲荷神社 Warikozuka-Inari Shrine

1万年前の富士山の噴火により流れた三島溶岩で形成された、周囲およそ 80m の溶岩塚。割狐塚稲荷神社は、その上に建てられた稲荷大神を祀る神社である。岩の中央に亀裂があり、昔、ここから狐が飛び出たという言い伝えが名前の由来である。

(長泉町下土狩 663 番地)





9. 原分古墳 Harabun Ancient Tomb

7世紀に作られた直径16mの円墳で、古墳時代後期の横穴式石室としては、静岡県東部最大規模を有している。

石室からは金銅装の馬具や太刀飾り、須恵器が多く出土し、石棺には「伊豆石」が使われている。

(長泉町下土狩 1574 番地の 1 長泉町営駐車場から徒歩 8 分)





10. 窪の湧水 Kubo-no-yusui Natural Spring

黄瀬川湧水群のひとつ。

約 2800 年前に発生した富士山の山体崩壊に伴う泥流堆積物の露頭も観察できる。

1854 年安政東海地震により湧水が始まったとされ、農業用水として使われ、1918 年には近接する製紙会社がこれを取水し操業を開始した。

(長泉町竹原 162 番地の 2 南部地区センターから徒歩 5 分)

